



繋



御幸中学校
3年学年だより
令和8年6月2日(火)
第5号

修学旅行を終えて～B組編～

3年B組

1日目の京都では、寺や神社が多くてどれも歴史あるものなんだということを感じられる場所だった。2年生の社会の授業で、京都は和の景観を守るために自販機やコンビニが他とは違うということを教えてもらって、実際京都の商店街や寺や神社の近くなどの、昔の日本らしい建物がたくさんあるところの自販機やコンビニを見ると、色がこげ茶色だったり屋根が瓦になっていたりして、普段見ているものとは別のもののように感じられた。

現代的な建物が増えている中で、京都は日本らしさを改めて感じられる素敵な場所だと学ぶことができた。

2日目の広島では、本物の原爆ドームを見て、実際の被爆者からのお話を聞いて、当時の使われていたものや原爆が落とされたときの広島の写真やイラストを資料館で見て、戦争で得られるものなど一つもなく、戦争はものや街、人の夢や希望、たくさんの命を奪うだけの、まさに百害あって一利なしの無意味なものだと改めて感じる事ができた。

碑巡りのときに、私がガイドさんのお話の中で一番印象に残ったのは、「家電製品や食品には保証があるけど、平和に保証はない。」という言葉。それを聞いて何気なく過ごしているこの日常が、突然戦争というものによって壊されるかもしれないと考えて怖くなったし、家族や友達がいて、学校に通えているこの日常を大切にしようとも思った。講話の中で、被爆者の方が「全てを一瞬で破壊する兵器と私たちは共存できない。」というお話をされていて、この考えを今も核兵器が増え続けている世界に知ってほしいと思った。戦争を過去の出来事で終わらせるのではなく、私たちが歩いたあのヒロシマで起きた惨劇を二度と繰り返さないためにも、戦争を経験した人、戦争で亡くなった人たちの思いを無駄にしないためにも、私たちが後輩へ、知らない人へと繋いでいくことが私たちにできる平和を築く方法だということを知った修学旅行だった。



3年B組

私は修学旅行を通して、歴史の素晴らしさや、平和や命の尊さ、友達の良さや大切さなどいろいろなことを学び、気づくことができた。まず、京都では清水寺と嵐山に行った。特に印象に残っているのは、嵐山の天龍寺で、庭園のきれいなお花や大きな池、歴史を感じられる建物を見て感じられる、歴史のある建物だからこそその雰囲気だ。天龍寺の後は、グループの



みんなで、嵐山商店街で時間を確認しながらお土産を見て楽しんだり、何気ない話をしたりしながら楽しく回ることができた。

2日目のヒロシマで碑巡りや被爆者講話、平和記念資料館見学を通して、改めて平和の大切さ、命の尊さを学んだ。平和記念公園の地面には被害に遭った建物、亡くなった人が埋まっているという意識を常に持って過ごした。碑巡りでは平和の灯、原爆死没者慰霊碑、平和の軸線など一つ一つに、広島の人々の平和への願いや誓いが込められていることを知り、世界の平和について考える、本当に大切な場所であることを知った。被爆者講話では目の前がオレンジ色に染まったすごい光だった、風下から茶色の爆風が吹いた、にぶい音がした、など体験した人でないと話すことができない、原爆が落とされたときの状況を聞いたり、廣中さんのお父さんの話を聞いたりしてとても胸が痛くなった。もし、私が廣中さんの立場だったらと考えると、怖くてたまらなくなった。だからこそもっともっと今ある幸せ、日々の何でもない日常をこれからも大切にしていこうと改めて思った。資料館見学では展示されていた被害に遭った衣服の破れているところや、展示品に添えてあるお話を読んで、やっぱり戦争はもうあってはならないと心から思ったし、核兵器や戦争がない世界を、戦争を知った自分たちが責任を持って築いていくべきだと思った。

3日目のユニバでは友達の良さや大切さに改めて気づくことができた。一緒に回った4人は、最初は4人で回るはずだったのに私を入れてくれてとても優しいなと思った。アトラクションに乗るのも4人乗りのアトラクションだったけど、3人と2人に分けて乗ってくれて、とても嬉しかったし4人のおかげで楽しい時間になった。だからそんな優しくて思いやりのある友達をこれからも大切にしていきたい。私も4人のように優しさを周りに与えられるような人になりたいと心から思った。



3年B組

修学旅行で自分は大人への道を一步、二歩進んだ気がしました。その理由としては、ルールと秩序を守れたこと、平和についての思いが強くなったこと、いろいろあります。けど、まだまだ学ぶべきことがたくさんあり、大人まではまだ遠いなと感じました。

1日目の京都。清水寺と嵐山を巡りました。ワクワクでいっぱいでした。清水寺は思ったよりでかくて迫力がありましたが、その中に落ち着いた雰囲気がありました。嵐山では、竹林の道や商店街に行きました。ちょっとした自主プランです。

2日目は広島。大事なことをいっぱい教えてもらったり、見たりしてきました。碑巡りでは、原爆ドームや平和の灯などを見、講話では被爆者の方に辛い過去を話してもらいました。ただただ心が痛みましたが、二度とこのようなことを起こしてはならないと感じました。

3日目は大阪（USJ）。人生で一番楽しかった。ただそれだけです。

この修学旅行は忘れられない思い出になりました。この思い出ができたのは、たくさんの人の力によります。自分が一番感謝を伝えたいのは、お母さんです。家に帰ったとき恥ずかしくて言えなかったけど、『お母さん、産んでくれてありがとう。このクラス、学年、先生たちと修学旅行に行けて本当によかった。自分はこの経験を今と将来に生かして大人へと近づきます。そして、夢を叶え、世界を、日本を、少しでもいいから平和にしていき、世界中の人々の夢を支えていきたいです。』